

古任由道 こにい ゆうどう 農藝化學者、農學博士。元治元年十一月、千白山城國生れ、昭和九年六月十八日歿（八三歳）。舊姓柳下、幼名省吉。明治十九年駒場農學學校卒。一、二、三年帝國大學助教、一、二、五年足尾鑛毒の調査報告を發表。歐洲留學後、三十二年東京帝大教授、大正九年同大總長、昭和六年帝國農工院會員。妻は小説家清水紫琴、哲學者古任由重は次男。

文獻「古任由道博士」（安藤圓秀編、昭和十二年六月十八日古任博士傳記縮纂會）刊。

